

南会津町立荒海小学校 R7経営・運営ビジョン



本校の概要

本校は、福島県の南西、南会津町の田島地域にあり、栃木県との県境に位置している。関東と東北を結ぶ会津西街道が発展した道路、鉄道が地区内を走っている。東には家老岳、南に荒海山が連なり、その中央を阿賀川の支流が流れ、緩やかな河岸段丘に建つ校舎からは、秀峰七ヶ岳が一望でき、緑豊かな美しい自然環境の中にある学校である。

一昨年度、家庭・地域と連携して創立150周年記念事業を実施し、地域とのつながりが深い学校である。現在の児童数は55名。

明るく元気で、学年の枠を超えて交流を図りながら、伸び伸びと学校生活を送っている。

めざす教師像

- 子ども一人一人の成長を考え、心に寄り添い、粘り強く指導し、共に成長の喜びを分かち合える教師
- 同僚性、チーム力を発揮して、環境の変化を前向きに受け止め、共に学び続ける教師
- 保護者に信頼され、共に協力して子どもの成長を支える教師
- ワーク・ライフ・バランスを実現し、元気に、笑顔で、明るく子どもの前に立つ教師

教育目標

**郷土を愛する
健康で知性と感性に富む
心豊かな児童の育成**

- よく学ぶ子
- 思いやりのある子
- からだを大切にする子

学校経営方針

- 1 一人一人の子どもを中心にした学校づくり**
 - 子どもたち一人一人が笑顔で登校し、元気に学ぶ、明るい学校
 - 子どもたち一人一人の健やかな学び（学力・関係・健康）の保障を第一に据えた学校
- 2 組織としての教育力を発揮する学校づくり**
 - 全ての教職員で全ての子どもに寄り添う学校
 - 教職員の個性・強みが生かされ、組織・チームとして機能する学校
- 3 家庭・地域と共にある学校づくり**
 - 家庭・地域・中学校との連携を深める開かれた学校
 - ふるさと荒海、南会津町の「ひと・もの・こと」に十分に触れさせ、郷土への愛着と誇りを育む学校

南会津町の宣言

- みんなの力は地域の力、みんなで創る協働のまちづくり宣言
- 移りゆく四季、人と自然を未来につなぐまちづくり宣言

南会津町教育大綱

【理念】

次世代の地域を担う人材の育成

【基本目標】

- I 自ら学ぶ人を育みます**
目標をもって生活し、その充実のために自ら積極的に学ぼうとする人を育みます。
- II 町を愛し、協働の心を持った思いやりのある人を育みます**
ふるさとを愛し、ふるさに貢献する心やお互いを思いやる心をもった人を育みます。
- III 伝統文化の保存と継承に努め、心豊かな人を育みます**
ふるさとの貴重な伝統文化の保存や継承に努め、地域に誇りと希望をもって生活できる心豊かな人を育みます。

家庭・地域の願い

- ・元気のよいあいさつ
- ・子どもの安全で安心な生活
- ・思いやりの心
- ・目標をもち進んで学習する態度
- ・望ましい学習習慣
- ・一貫性のある指導
- ・根気強さ
- ・ふるさとを愛する心



令和7年度 荒海小学校経営スローガン

元気いっぱい、笑顔いっぱい！荒海小

Leave No One Behind (だれひとりとのこさない)



**よく学ぶ
～学力保障～**



**あいさつをする
～関係保障～**



**からだを守り高める
～健康保障～**



- I 対話的・協働的な深い学びの充実**
 - ・授業改善に向けた職員研修の充実（一人一研究授業、実践共有タイムの実施）
 - ・伝え合う力を高める指導の工夫（「気づき・考え・発信する」サイクルの重視）
 - ・教科等横断的なESDの視点の重視（学習内容の系統・関連性を意識した指導）
- II 資質・能力の育成を支える基盤づくり**
 - ・家庭学習の充実と保護者との行動連携（家庭学習カード、自学ノート参観）
 - ・読書の量と質の向上（読書タイム、学校図書を活用）
 - ・情報技術に関する技能の向上（ICTの効果的な活用、ランタイム《端末操作》）
- III 特別支援教育の充実**
 - ・特別支援チームによる個に応じた指導
 - ・家庭・関係機関との連携

- I 同学年、異学年の仲間とつながり、高まり合う児童の育成**
 - ・あいさつする態度の育成
 - ・考え・議論する道徳科の実践（全校重点「親切、思いやり」「公正、公平、社会正義」）
 - ・教員研修(Q-U, SST活用等)による学級経営力の向上（自尊感情の醸成、ルールとリレーションの確立）
 - ・集団遊び、異学年交流での自発・自治的活動の充実（えがおタイム、児童会活動・各種行事等）
 - ・いじめ・不登校の未然防止と早期発見・対応（学校生活アンケート、教育相談の充実）
- II 地域に誇りを持ち、持続可能なふるさとづくりのため行動する態度の育成**
 - ・地域を学び、地域に貢献する探究的な学習の充実（地域の教育資源「ひと・もの・こと」の活用）
 - ・生活文化、自然、社会等の体験活動の充実
 - ・「キャリア・パスポート」の活用

- I 健康・安全に生活できる力の育成**
 - ・家庭との連携による基本的な生活習慣づくり（各種便り、情報提供、小中連携「弁当の日」の実施、感染症対策、自分手帳の活用）
 - ・情報モラル教育の推進（重点「ルール、マナーと責任」「ネット依存の予防」）
 - ・安全三領域（生活・交通・災害）の計画的、具体的な指導
- II 体力・運動能力の維持、向上**
 - ・体育科の授業における運動量の確保（運動身体づくりプログラムの実施）
 - ・運動の日常化（運動遊び、ランタイム、縄跳びの励行）